

# 2017年5月11日掲載 物流ニッポン

## 山形県庁周辺で清掃

### 第一貨物労組

第一貨物労働組合（水戸吉一執行委員長）は結成70周年の記念事業として、全分会一斉の社会貢献活動を展開している。

4月30日には、山形市内の5分会が山形県庁の周辺国道で清掃活動を行った。

2016年10月の定期大会での記念講演会に続く第2弾の取り組みで、全国の支部、分会ごとに、4月下旬から5月まで実施している。

山形での清掃活動には、本社支部の分会と山



形支部の山形、山形流通、山形貸切、山形工場の5分会から100人が参加。水戸委員長は「記念

事業として、以前から行っている社会貢献事業を拡大させるようになった。その一つが、今回の清掃活動で、全分会で展開する。公道を利用する者として道路を奇麗にしよ」と述べた。また、政府の働き方改革にも触れ「残業規制が決まろうとしているが、運送業界への適用は一般企業の数年後になる案だ。これはおかしい。声を上げていく」と意気込みを語った。

同組合は現在、全国7支部、80分会で、活動を行っている。（黒田秀男）

5分会から100人が参加